

インドネシアコンピュータ大学とインターンシッププログラムに関する覚書を締結

総合人材情報サービスの株式会社アイDEM(東京都新宿区 代表取締役社長: 柁山亮)が展開するアイDEMグローバルは、インドネシアコンピュータ大学(Universitas Komputer Indonesia/UNIKOM)と、インターンシッププログラムに関する覚書を締結し、インドネシア現地にて調印式を開催しました。

インドネシアコンピュータ大学は2000年にバンドンに設立された私立大学で、日本語学科を有しています。日本語学科には全体で約200人の学生が在籍し、約半数は日本へのインターンシップに参加しています。今回の覚書により、アイDEMは日本での就職を希望する日本語学科の学生に、就業した際の業務や生活のイメージを把握するインターンシップの機会を提供します。一方、外国人材の受け入れを検討している企業へは、万全なサポート体制のもとでインターンシップ生を紹介することにより、受け入れに対する不安の軽減や煩雑な書類手配まで広くサポートします。

アイDEMグローバルは「日本で働く感動を提供する」という理念のもと、高度人材からインターンシップ、特定技能まで外国人雇用を幅広く支援しています。これまでベトナムのハノイ工科大学をはじめ、ベトナム国内の複数大学とインターンシップを中心とした覚書を締結し、インターンシップの実績は合計160名以上に上ります。また、インドネシアの大学との締結は2026年2月のインドネシア教育大学に続き2校目となります。

アイDEMは、日本での就職を目指す学生の支援や、日本語教育および実践的な職業教育に取り組みます。さらに、両国をまたぐ人材の育成と、人材を求める企業とのマッチングを図り、日本国内で課題とされる人材不足の解消に貢献をまいります。

調印式: 2026年5月22日(金)



【写真左: 調印式の様子 左からアイDEM 取締役部長 栗原健治、
インドネシアコンピュータ大学 学長 Prof.3Prof.HC.Dr.Ir.H.Eddy Soeryanto Soegoto,M.T. 様、 写真右: 調印式参加者】

■アイDEMグローバルについて <https://www.aidem.co.jp/global/>

高度人材(エンジニア等)から特定技能、インターンシップまで、外国人雇用を幅広く支援しています。2018年からハノイ工科大学との協同教育プログラムを開設し、日本語教育やビジネスマナーの理解促進を図り、企業と学生をつなぐ面接会イベントを企画・運営しています。さらに、ベトナム現地大学との連携を強化し、日本企業・文化を体験できる1~2週間の短期インターンシップを実施しています。人材紹介に加え、教育・育成を重視した取り組みも展開。ベトナム最大級の日本語学校「Riki」と業務提携を結び、『アイトク』として日本語学習アプリや特定技能試験対策授業を提供しています。※登録支援機関登録番号 19登-000325
※内定実績(2026年2月末現在): 特定技能4,300名・インドネシア人材実績500名以上/ハノイ工科大協同教育プログラム105名/インターンシップ163名

<取材のお問い合わせ> 株式会社アイDEM 広報担当/望月・栗木・平沢 電話: 03-5269-8780